

地域資源を活用した観光・交流事業

公民館名	市木公民館	人口（令和2年12月）	239人
		世帯数（ 〃 ）	131戸

1 公民館で力を入れてきたこと、これからも続けたいこと

「楽しく学べる講座、教室」を念頭に、参加者が興味のある事業を中心に推進してきたが、地域にとっての社会教育の一翼を担ってきたものか疑問である。特産品、観光地もなく、極度に進む高齢化と世帯減少の中において、まちづくり推進委員会と協働で開催しているほたる祭りの「ほたる」を地域資源として捉え、観光交流の拡大を目指している。

2 特色ある活動や行事・取組等の実践事例

～ほたる増殖研究会の立ち上げ～

平成8年から地区有志によりほたる増殖が行われていたが、高齢化により1人となった。これを継承すべく平成30年から14名が参加し、「ほたる増殖研究会」を立ち上げ、ほたる採取、孵化、放流を行っている。

また、本年のまちづくり交付金を活用し、「ほたるの郷」看板を設置した。



初めての研修会では、ほたるの生態や採取方法等について学び、採取を行なった。



邑南町立市木小学校34年生が総合的な学習（ふるさと学習）で、ほたるの養殖に取り組みました。



今年度は、合わせて120尾のほたるを採取し、そのうちの7割が孵化に成功し、約3万尾の幼虫を市木川・来尾川に放流した。

初年度に比べ、孵化成功率も年々上がってきている。

今後も情報発信の方法を探りながら、観光交流の拡大に努めていきたい。